

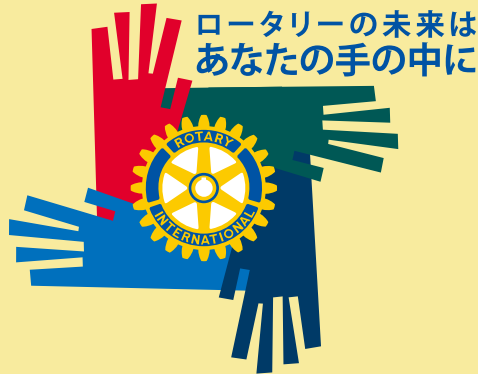


神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2009-2010年度 R I 会長 ジョン・ケニー



2009-2010年度 第2590地区ガバナー 野坂 定

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|--------|
| ● 会長 | 河野 明光 | ● 会長エレクト | 横山 範夫 |
| ● 副会長 | 古川 陽太郎 | ● 副会長 | 石川 正三 |
| ● 幹事 | 山田 正憲 | ● 副幹事 | 飯田 泰之 |
| ● 会計 | 朝日 達夫 | ● 副会計 | 田口 健太郎 |
| ● S A A | 月山 勇 | ● 副 S A A | 伊澤 政宏 |
| ● 副 S A A | 矢野 修二 | ● クラブ会報 | 森 永 健 |

●クラブテーマ「信頼」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2009-2010年度 第47号週報 No. 1653 2010年(平成22年) 6月18日 第1653回例会記録 6月25日発行

司 会 飯田 泰之 副幹事

ゲスト紹介 神奈川 R C 会長 鈴木 亮二 様
神奈川 R C 幹事 島崎 友樹 様

点 鐘 河野 明光 会長

結婚記念日祝 伊東 英紀 会員 (6月24日)

斉 唱 「それでこそロータリー」

四つのテスト 伊東 英紀 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

特別行事 神奈川 R C 会長・幹事 表敬訪問



本日〈6月25日〉のプログラム
年度末夜間例会

会長報告

河野 明光 会長

【緊急連絡】

1. 連絡事項

6月18日の例会で採決したクラブ細則の改正案につき、例会場では「可決された」と発表しましたが、「否決」されたのが正しいので訂正します。

2. 訂正の理由

採決は、賛成32票、反対13票、棄権4票でした。

棄権票を除いた有効数は45票で、その3分の2以上は30票となるので、例会では「可決された」と発表しました。しかし、細則第16条には「出席会員の3分の2の賛成投票」と規定されており、棄権票は「出席会員」であり、かつ「賛成投票」ではないので「反対票」にカウントされることとなります。従って、49票の3分の2以上は33票となり、賛成32票、反対17票という票決と同じになり、改正の要件を充たさないこととなります。

よって、クラブ細則の改正案は否決されましたので、その旨訂正します。

以上

幹事報告

山田 正憲 幹事

- ・地区よりローターアクト4クラブ合同例会開催の案内が来ておりますので回覧します。
- ・本日、例会終了後にクラブ協議会がございます。場所は4Fフロンティアとなりますので出席義務者の方はよろしくお願い致します。
- ・次週、25日金曜日は今年度最後の例会となります。夜間例会となりますのでお間違えないようお願い致します。

場所 キヤメロットジャパン 5F ジュビリーⅡ
点鐘 18時

スマイルボックス

月山 勇 SAA

神奈川IRC 鈴木亮二様

当クラブ創立50周年記念式典には、多数のご列席、ありがとうございました。また、河野会長、山田幹事様には一年間大変お世話になりました。

神奈川IRC 島崎友樹様

神奈川東RCの皆様、こんにちは。河野会長、山田幹事を始めとする神奈川東RCの皆様には一年間大変お世話になりました。また、6/13の我クラブの創立50周年式典でもお世話になりました。今後とも、変わらぬご指導をよろしくお願い致します。

伊東英紀君 ①結婚祝い、ありがとうございます。結婚38年目になりますが、未だに新婚のよう。②古川先生、石川先生、先日はお世話になりました。

河野明光君 神奈川RC鈴木会長、及び島崎幹事、ようこそお越し下さいました。クラブ創立50周年の大役を見事終え、“ほっと”しておられることでしょうか。今年一年、何かとお世話になりました。感謝申し上げます。

富居利貞君 河野会長、山田(正)幹事、各理事・役員・委員長さん、一年間ご苦労様でした。

山本 登君 チョット遅刻しました。

山田正憲君 神奈川RCの鈴木会長、島崎幹事、ようこそいらっしゃいました。素晴らしい50周年式典でした。

我妻隆邦君 クラブ細則の改定案の審議、よろしくお願いします。

江森国一君 第2テーブルミーティングにご参加の皆様、ありがとうございました。楽しい一日でした。

西山 潔君 河野会長、昨日は色々とお世話になりました。大変楽しい話をありがとうございました。

植田 清司君 ①会長始め、理事・役員の皆様、一年間お疲れ様でした。②我が家の朗報です。長男が7月3日に結婚します。花嫁さんを迎えて父親は大喜びです。

長井 章君 毎日暑いですが、ご自愛下さい。来週は梅雨の無い北海道に避難してきます。

脇田いすゞさん いよいよ昼の例会今日で最後ですね。会長始め、皆様、本当にお疲れ様でした。

茂木知子さん 河野会長について。A会員「円鏡に似ている」。Y会員「月亭可朝に似ている」。～先週の受付の会話より～

小山市康君 先週の第2テーブルミーティング参加された皆様、より親睦を深められました。ありがとうございました。

伊澤政宏君 今年度残すところあと1回ですね。会長、幹事、役員の皆様、ご苦労様でした。

矢野修二君 今期も残すところあと僅かですね。

月山 勇君 今年度も来週の夜間例会を残すのみとなりました。河野会長、山田幹事を始め、理事・役員の皆様お疲れ様でした。

6月18日	18件	79,000円
本年度累計		2,258,524円

出席報告

茂木 知子 委員長

会員総数	59名	(46+13)名	
出席会員数	49名	(39+10)名	
出席率		89.09%	
ゲスト	2名	ビジター	0名
前回補正後	83.33%	前々回補正後	92.86%



「年度末挨拶」

◆副会長 古川 陽太郎



本年度、会長は年間テーマとして「信頼」を掲げられました。私もこの一年間、副会長と言う役職を仰せ付かってから、会員間の「信頼」を構築すべく努めて参りましたが、充分にその目的を果たせなかった事を先づ以ってお詫び申し上げます。

「信頼」とはその言葉の前に、先づお互いの意志の疎通、相互理解、相手の意見の尊重・・・など、上から目線の指示、命令では無く会員間相互との「コミュニケーション」が大切だったのでは無いかと痛感し、反省をして居ります。これからは、次年度の会長テーマも掲げられている、この「コミュニケーション」を第一優先事項として、会員間の「信頼」ひいては親睦・友愛にまで高めて行ければ・・・と心に刻んだ一年間でした。

さて、本年度、私、副会長の担当である7つの委員会に就いて、私なりの総括をさせていただきます。

個別委員会の詳細については、会長総括にお譲り致しますが、各委員会は委員長を始めとして、各委員の皆さんに至るまで、他の委員会ともお互いに協力して、相談しながら、一生懸命努力され、立派な業績を上げられたと心服しております。

委員の皆さんを纏め、一つの目的に向かって努力された各委員長の方々には頭が下がる思いが致します。

しかし、ただ残念だったことは、我が神奈川東ロータリークラブを立ち上げたチャーターメンバーであり、初代幹事職を務められた白井恒夫先生が逝去されたことです。白井先生は、亡くなる直前までクラブの活性や盛況、及び行く末を強く案じて居られました。

ここに謹んで哀悼の意を表したいと思います。

また、本年度は白井先生のご逝去を含めて、退会者が多かったことも残念なことに挙げられます。また、新規入会者数が少なかった為、年度始めと比較して、全体で6～7名近く会員数が減少してしまったことは、禍根が残る点では無いでしょうか？このことは単に世界的不況のみが原因なのか、それともクラブの雰囲気が悪くなった為なのか、皆で良く検討する必要があると思われま。

これからは、お互いの「コミュニケーション」を図り乍ら、白井先生の意志を引き継いで、退会防止と新会員の増強への努力が必要となるでしょう。そして、この為にも会員の皆様方にも更なるご協力をお願い致します。

最後に、この一年間、副会長として力が及ばず、皆さん方のお役に立てなかったことを深くお詫びして、副会長所感とさせていただきます。

皆様、有難うございました。

◆会 長 河野 明光



経済不況のどん底からスタートした年度でありましたが、皆様のご協力のお陰で何とか次年度に引き継げるところまで漕ぎ着けましたことを先づもって感謝申し上げます。

今年度を振り返り、何より悲しい出来事は当クラブのチャーターメンバーであり、第6代会長を務められた故白井恒夫会員がご逝去されたことです。（享年84歳）

次週の最終例会に故人へ黙祷を捧げ、謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、今年度は62名の在籍会員数でスタートさせて頂きましたが、物故会員も含め7名の会員が今年度クラブを退会されました。

幸いにも年初に高田会員のご紹介で佐藤さん、小山さんの入会をご承認頂きましたが現在まで5名減であり、次年度へは在籍会員57名の引継ぎとなりそうです。

経済環境の悪化は兎も角、会長として退会防止および増強活動に効果的な手立てを講じられなかった責任は重いと猛省しています。

ご承知の通り、今年度のクラブテーマを「信頼」と致しました。私は今年度、この「信頼」という絆を頼りに新たな提案や取組を試みました。その試みの一つが長年の慣習の見直しであります。中には良い慣習もありますが「昔からこうだ」、「ずっとこのやり方だったから」というのも少なくありません。何も考えず従来方式を続けるのはもっとも楽な方法ではありますが、そこには確固たる理念や信念がなくてはならないと考えていました。

一年間あれこれと、見直しに取組みましたが、次年度に継承して頂けるような成果をお示しするものは何一つ無く、徒労に終わりました。しかし、一年間係わって頂いた各委員会やその委員の皆さんに関して申せば、私が期待していた以上の信頼に応え活動して下さいました。こんなに有難く嬉しいことはありません。

一年間に亘り我侭な会長を一生懸命支えて頂き、盛り立てて下さいました会員の皆様に心から感謝申し上げます。

「皆さん一年間本当に有難うございました。」

◆副会長 石川 正三



二人目の副会長をお引受け致しまして、あっという間に一年が経ちました。仕事らしい仕事もせず、このところ例会を何回か休んだりしまして、誠に申し訳ないと思っております。

ふと気が付くと、何年か振りに会員の数が60人を大きく割り込んで、実はショックを受けております。

退会の要因が経済不況なのか、クラブの雰囲気絡むことなのか、私なりに分析して35周年を迎える横山年度には60人回复を目指して、微力を尽くしたいと思っております。

ロータリーに関連する私個人のことについて、この機会にご報告致します。

ご存知の様に、3年前から「ロータリーの友」の常任委員に選任されまして、月1～2回の委員会や編集会議に出席する他、全国の「地区委員」の会合などがありまして、大阪に出張するなど、結構忙しい仕事をしておりました。今月末で3年の任期が終わり、「お役御免」になるものと思っておりましたところ、後任が未だに決まらず、新しく発足しました「社団法人ロータリーの友事務所」の理事の任期が、決算の終わる今年9月末までになっていることもありまして、とりあえず9月末まで常任委員の職に留まらざるを得ないことになりました。

毎月の委員会で、日本から出ているR I 理事から最新のR I の動向を聞けるという利点もありますが、会合の司会や編集に関する30分スピーチなどを引き受けておりました、高齢者にとっては精神的な重荷になっておりますので、早く抜けたというのが本音であります。

私のことはともかくと致しまして、この1年間、執行部に対する皆様のご協力で改めて感謝を申し上げます。

◆幹事 山田 正憲

河野会長のご指導と委員会の皆様のご支援、そして事務局のきめ細やかなご配慮により、一年間、幹事という要職を何とか務めさせて頂きました。皆様に感謝するとともにこの一年間を振り返ってみたいと思います。

●7～9月

会員や会員のご家族の方の不幸が多く、心を痛める日々が続いま

したが、小山市康会員と佐藤勝彦会員の入会がクラブに新しい活気をもたらしてくれました。

交換学生アビー・ムーアさんの送別会と10月の地域まつりの募金活動の勉強の為、社会奉仕のクラブフォーラムを開催しました。また、国際親善奨学生石田美緒さんがイタリアに旅立ちました。

●10～12月

大変密度の濃い四半期で、反町公園の地域まつりでの募金活動、ガバナー補佐公式訪問とクラブ協議会・ガバナー公式訪問と続き、地区大会ディナーパーティー・地区大会ゴルフ大会が開催されました。地区大会ゴルフ大会では加藤会員と田中会員が優秀な成績を収めました。そして、地区大会、クラブ奉仕のクラブフォーラム、年次総会、米山奨学生・学友パーティー、年忘れ家族会と毎週何かがあるという感じの3ヶ月でした。

●1～3月

神奈川RCとの合同賀詞交歓会、IMと続き、クラブ協議会で各委員会の中間報告をして頂きました。優良職場訪問を控え、職業奉仕と環境についてのクラブフォーラムを行い、それを受けて優良職場訪問と環境施設見学を行いました。

●4～6月

滬尾RCとの姉妹クラブ更新調印式に向けた国際奉仕のクラブフォーラムを行い、その後、滬尾RCを迎え姉妹クラブ更新調印式及び歓迎会を行いました。

あいにくの天気ではありましたが、春の家族会を博物館・美術館巡りというちょっとおしゃれな家族会として行うことが出来ました。そして、本日、クラブ協議会で各委員会の一年間の活動報告を行います。

幹事としては、ただただ事業に追われるだけの一年だったような気がします。これも、皆様のご指導とご支援・ご協力があつたからこそ感謝の気持ちでいっぱいです。

一年間ありがとうございました



◆会計 朝日 達夫



あつという間でしたが、一年間、無事に会計の職務を行うことが出来ました。

事務局を始め、会員皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。

予算に反映されているとおり、慣例に囚われず、硬直的な予算配分を極力避けることが今年度の会長のご指示でありました。それは、不必要かつ無駄な支出を見直し、必要な部分に効率よく資金を投入することでもあり、結果、柔軟的な価値あるクラブ活動を下支えるものでありました。

経過勘定の導入などを含め、今年度の様々な課題を克服するよう努力して参る所存ですので、今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2009-10年度 3月～6月 テーブルミーティング報告

テーマ『ロータリーに於ける親睦について』

【第1テーブルミーティング】

平成22年5月14日（金） 「ピストロ 風我亭」にて
テーブルマスター 佐藤勝彦 サブマスター 渡邊 淳

上記日程にて、青柳会員のご夫人が経営する風我亭にて、河野会長始め事務局の渡辺さんを含め総勢18名の方々にご参加頂き、「ロータリーに於ける親睦について」というテーマで執り行われ、皆様活発な意見交換がなされました。

何しろ初めての経験ということもあり、不慣れなミーティングとなってしまいましたが、皆さんの意見としては、総じてこれからも積極的な親睦を図り、有意義なクラブライフを送ってほしいという声が多かったです。

最後になりましたが、サブマスターの渡辺会員からの色々なアドバイスを頂き、無事終了することが出来ましたこと、感謝申し上げます。

また、ご出席頂いた皆様、お疲れ様でした。

貴重な体験をありがとうございました。

【第2テーブルミーティング】

平成22年6月11日（金） 「和善 結」にて
テーブルマスター 小山市康 サブマスター 江森国一

会長の挨拶に続き、クラブ経験豊かなPP、親睦活動委員長経験者等に先ず意見をお聞きし、その後他のメンバーの方々から活発な意見交換をして頂きました。

ロータリー活動のベースとなる親睦というものを再認識する素晴らしいミーティングとなりました。

当日の主だった意見内容を列記させていただきます。

- ・親睦にはクラブ内、外の親睦がある。クラブ内で安心して活動するには、先ず会員相互の親睦が必要である。その後に会員家族、続いて他との交流を深めることである。
- ・毎週の例会を始めとするクラブ活動は、会員全員が楽しくなければならぬ。
- ・会員相互の和をもって、クラブ活動をやる必要がある。
- ・落胆することのない様、分け隔てなくクラブ活動を仲良くやる必要がある。
- ・ロータリークラブというものは、会員の親睦により良くしなければならない。
- ・親睦の機会があるときは断ることなく、積極的に参加するというコミュニケーションが必要である。
- ・ロータリークラブは事業者トップ等の集まり。折角交流が出来たのだからコミュニケーションを保ちたい。
- ・親睦で自分が楽しめるからこそ奉仕活動がある。
- ・会員同士の親睦は後になって活動に役立つもので、お互い親睦という協力も必要である。
- ・ロータリー活動は会員が支え、助け合って出来ることで、親睦という支援が必要である。

親睦を深める大切さは全員共通しての意見でした。参加頂きましたテーブルメンバーの皆さま大変有難うございました。

【第3テーブルミーティング】

平成22年6月3日（木） 「荔香尊酒家」にて
テーブルマスター 友添辰哉 サブマスター 山田富雄

各会員より貴重な意見を頂きました。

- ・親睦=和である。和+和=和をもって会員同士が仲良くすることが、親睦ではないか。
- ・まずは相手の気持ちになって考える。
- ・自分の意見を言い、相手にも意見を言ってもらい意志の疎通を図ることで親睦の基盤が出来る。
- ・仕事・家族以外でたくさんの人たちと会える場なので、会合に出来る限り参加し、親睦を深める。
- ・出来るだけ時間を取り、色々な活動に参加し、お互いの意見を交わり、信頼関係を築く。
- ・異業種交流での諸先輩方に昔話や活動を聞かせて貰いたい。（その機会を作って頂きたい。）
- ・友好的なクラブ（親睦） 神奈川東には3つの同好会があります。
①ゴルフ、②茶道、③釣り。趣味や興味を通して親睦を図り、継続することが大事ではないでしょうか。

次年度35周年に向けてcommunication / friendshipが重要だと思います。

今年度最後のテーブルミーティングで、14名の会員の皆様と芦沢さんにも参加して頂き、大変楽しく過ごすことが出来ました。

第3回クラブ協議会

日時 6月18日(金) 13:45～

場所 キャメロットジャパン 4F フロンティア

例会終了後、今年度最後のクラブ協議会が開催され、各委員長より一年間の活動報告がなされました。



ロータリーミニ情報

「ポリオの撲滅は世界の義務」

カナダ、モントリオールで開催されている2010年R I国際大会にて、25年を数えるポリオ撲滅活動を完遂させるよう激励を受けたロータリアンは、ロータリーによるポリオ撲滅の誓いを新たにしました。

6月22日、第3回本会議が開かれ、世界保健機関の世界ポリオ撲滅推進計画責任者、ブルース・アイルワード氏が講演を行いました。アイルワード氏は、ポリオ撲滅が間近に迫っている現在の状況と、ロータリーが描くポリオのない世界が現実のものとなるようにしていることを大会の出席者に訴えました。

その前日となる6月21日の夜、元ポリオ患者のラメシュ・フェリスさんが大会会場である Palais des congrès からモントリオール旧市街の Bonsecours Market までの道のりを、手こぎ式の自転車で移動しました。これは、Bonsecours Market の外壁に、ポリオ撲滅を訴える「En finir avec la polio (End Polio Now)」の文字をイルミネーションで照らすイベントの一環として行われました。同日に行われた第2回本会議では、20カ国以上の政府高官やその他の著名人の署名が記された「アフリカ・キックアウト・ポリオ」キャン

ペーンのサッカーボールが、雷鳴のような拍手喝采の中、会場に到着しました。

「ロータリアンの皆さまの善意があったからこそ、ポリオ撲滅活動を抜本的に推し進めてくることが出来ました」と、アイルワード氏はポリオとの闘いにおけるロータリアンの貢献を称賛しました。

アイルワード氏は、更にタジキスタンにおける最近のポリオ発症事例を挙げ、撲滅活動を完遂させることは決して容易なことではないと指摘しました。タジキスタンでは、ポリオウイルスによって成人の死者が出たほか300人の子どもが感染し、国境は封鎖され、国家間の移動が禁止されています。タジキスタンにおける惨状は、ポリオ撲滅活動の失速を如実に物語るものだとアイルワード氏は説明します。

「ロータリアンの皆さまは、この12カ月でポリオ撲滅が可能であることを実証し、世界もまた、失敗を通じて多くのことを学んできました。今、この闘いに全力を尽くす重要性はずっと高くなっています」とアイルワード氏。

タジキスタンでのポリオウイルス発生を受け、48時間後にはポリオ・プラス基金から総額50万ドルの緊急資金が投じられました。現在、現地の状況は沈静化しつつあるとアイルワード氏は述べます。

同氏はまた、現存する2種類のポリオウイルス両方に効き目がある二価ワクチンに言及し、インドのビハール州、ウッタルプラデシュ州の両州において過去6カ月間ポリオが未発症であることを報告しました。

「ポリオ撲滅に向けた皆さまの活動には目を見張るものがあります」とアイルワード氏。「皆さまは、超我の奉仕を実行すると同時に、ロータリーを世界の舞台へと押し上げたのです」

ポリオ・プラス・コートジボアール委員会委員長で、アビジャン・ビエトリー・ロータリー・クラブ(コートジボアール)の会員であるマリー・イレヌ・リッチモンド・アオウアさんは、第2回大会本会議において、「アフリカ・キックアウト・ポリオ」キャンペーンのボールをジョン・ケニーR I会長に渡し、署名を書き入れてもらいました。

「ポリオ撲滅は義務であり、選択肢の一つではありません」とリッチモンド・アオウアさん。「私たちは子どもの命を奪い、身体を奪うこの恐ろしい病から、アフリカ、東南アジアを含む全世界を救う為に、最後の一押しに全力をかけなければなりません」

ホワイトホース・ロータリー・クラブ(カナダ、ユーコン州)の会員であるフェリスさんは、2008年、手こぎ式自転車でカナダを横断し、ポリオ撲滅活動のために300,000カナダドル(294,100米ドル)の募金を達成しました。

6月21日、警察の協力を受けたフェリスさんは、インターナショナル・ポリオ・プラス委員会のロバート S.スコット委員長やロータリー家族の青少年たちとともに、モントリオール旧市街の Bonsecours Market まで、自転車に乗って移動しました。

記事: Arnold R. Grahl

次回《7月2日》の卓話予定

新年度挨拶

会長、副会長、会長エレクト、幹事、会計